



## 連合福島国際女性デーフォーラム



# ジェンダー平等に向け性差別、冷遇、偏見の改善を

「連合福島国際女性デーフォーラム」は、3月5日（土）14時より福島市・ラコパふくしまにてハイブリッド形式で開催し、各構成組織・地区連合から約90名が参加した。冒頭、東日本大震災から11年を控え、犠牲になられた方を追悼し全員で黙とうを捧げた。

主催者を代表し、青年女性委員会・伊藤昭子代表幹事より「3.8 国際女性デーは女性の政治的自由と平等の為に行動する記念日と位置付けられ、世界各国で様々な行動が展開されている。一般的に、有期雇用や不安定な働き方にある女性の割合が高い。コロナ禍では所得水準を引き下げ、仕事や生活、将来などの不安がストレスの要因となっている。それだけ、まだまだ女性は弱い立場におかれており、私たち自らの努力はも

とより労働組合として性差別や冷遇・偏見などの改善・是正に向けた取り組みを継続していかねなければならない。」と参加者に呼びかけた。

続いて、連合福島の今野 泰会長より「2015年9月に国連でSDGsが採択をされて以降、国内のみならず世界で人間・社会・地球環境の持続可能な発展、これらの取組が進められている。SDGsの17の目標の一つにジェンダー平等が掲げられている。日本では同時期に女性活躍推進法が制定をされ、機運が一気に高まった。

連合もジェンダー平等を掲げ取り組んではいるものの、労働組合に女性自らが参加する意思・意欲を持っているのか、女性の立場で企業や組織に対して意見を述べる、また受け取る側でも真摯に耳を傾ける環境にあるのか、真剣に考えなくてはならなく改めて反省する点もある。



伊藤昭子代表幹事挨拶

連帯の挨拶をする  
今野泰会長

講演を頂いた二瓶由美子様

これからの労働組合の活動、そして青年女性の方々の育成に向けて、私たち自身が目を凝らしながら、そして耳を傾けながら、時には励ましながら組合運動を作っていかなければならない」と連帯の挨拶をした。

基調講演は、「ジェンダー平等は未来への希望」と題して、二瓶由美子様（桜の聖母短期大学元教授）をお招きし、女性の人権とエンパワーメントについて特徴的な事例を交え講演をいただいた。

有意義な基調講演後、アピール採択し、緊急ではあったものの「ロシアのウクライナ軍事侵攻への抗議」のアピールボードアクションを参加者全員で取り組んだ。

アピールボードアクションで  
ロシアのウクライナ侵攻に抗議！！